



第13回 やましな栄誉賞

日本警察犬協会公認一等訓練士長 竹本昌生さんが受賞

やましな栄誉賞は、スポーツ、文化および産業の各分野において活躍され、全国的に「山科区」の存在をアピールすることに功績のあった方を、山科区民の総意として表彰するものです。

第13回目となる「やましな栄誉賞」には、長年にわたり、日本警察犬協会訓練士として、警察犬の訓練指導、捜査協力や指導教養に当たられた竹本昌生さんが選ばれました。竹本さんは全国でも数少ない日本警察犬協会公認一等訓練士長で、現在の警察犬の臭気選別方法を開発され、数々の難事件解決にも貢献されてきました。今回の受賞は、長年の実績と功績が高く評価されたものです。

竹本さんには、賞状のほか記念品が贈呈されます。



受賞者 ^{たけもと まさお} 竹本 昌生さん



略歴

- ・昭和2年生まれ
- ・昭和23年 ライトマン京都警察犬訓練所 開設
- ・昭和44年 京都府警察嘱託警察犬制度発足に伴い全国の直轄警察犬専任指導員に就任
- ・昭和45年 臭気採集保存方法を研究開発し実用化に成功
- ・昭和48年 日本警察犬協会公認一等訓練士長 昇格
- ・平成16年 黄綬褒章受章

表彰式

- ・日 時 2月22日(日)午前10時50分～
- ・場 所 東部文化会館ホール
※区民ふれあい文化祭「区民芸能フェア」の冒頭で実施

●問い合わせ先／やましな栄誉賞委員会事務局(区まちづくり推進担当) (☎592-3088)

やましな栄誉賞 記念品 青抹陶長丸雲錦

三代目 斉藤雲楽(伝統工芸士、京都市伝統産業技術功労者)作

この壺に描かれている雲錦文は、16世紀末、豊臣秀吉の「京の満開の桜と紅葉の美しさを同時に見たい」という命により、時の名工が制作したと言われています。

この雲錦文は、雲楽窯で開発された「青抹陶釉」という艶消しの釉薬が使用されています。三代目斉藤雲楽の釉薬の特徴は、年代を重ねると奥深い重厚な色合いに変化します。

竹本さんが、これからもお元気で活躍されることを願い、この飾り壺をお贈りします。 制作：清水焼団地協同組合



ふれあい“やましな”2015 2月22日(日)入場無料 区民ふれあい文化祭を開催

場所／東部文化会館

文化芸術に関わる区民の皆さんの、日ごろの活動の成果を発表していただく場として、「区民ふれあい文化祭」を開催します。

区民ギャラリー ●時間／午前10時～午後5時
区民の皆さんの絵画・書道・写真・リサイクルアートを展示します。心のこもった力作です。どうぞご覧ください。

区民芸能フェア ●時間／午前10時30分～午後4時30分ごろ
区民の皆さんが、ダンス・演奏・舞踊など様々な演目を披露します。振分親方(元高見盛関)へのインタビューや力士とちびっこ力士のふれあいも行います。

お茶席／ ●時間／午前10時～午後4時
会場内にお茶席を設けます。(先着200名限定。なくなり次第終了)

1席200円 ●問い合わせ先／ふれあい“やましな”実行委員会事務局(区まちづくり推進担当) (☎592-3088)



子どもからお年寄りまで気軽に
参加できる区民ふれあい文化祭。
ぜひお越しください。

京都市長 門川 大作